

イルムの里「通学合宿」

■ 事業のねらい

子どもたちが一定期間親元を離れて学校に通いながら、集団宿泊生活や各種の体験活動を行い、基本的生活習慣・生活リズムを身に付けるとともに、思いやりの心や自主性、協調性を養う。



- 実施日 平成24年11月11日(日)～17日(土) 6泊7日
- 参加対象 深川市立音江小学校 5年生
- 参加実績 参加者：19名
 深川市立音江小学校5年生=19名
 男子=7名 女子=12名
 運営協力者：北翔大学生涯スポーツ学部学生9名
 講師：板倉会館 1名
 ゆーすくる協力会(深川岳悠会) 2名
- 備考 活動場所：北海道立青年の家、深川市立音江公民館
 共催：深川市立音江小学校、深川市立音江小学校PTA
 後援：深川市教育委員会
 音江地域青少年健全育成連絡協議会
 北翔大学生涯スポーツ学部

1 事業実施の背景

本事業は、平成14年に、集団生活を通して基本的生活習慣の定着と思いやりの心を育むことを目的に「イルムの里づくり通学合宿」としてスタートした。地域の教育力を取り入れた様々な体験プログラムを組み込み、平成19年度から北翔大学の協力を得て開催している。

2 プログラムデザイン

受付 11月13日(日) 15:00 解散 11月19日(土) 15:00

日曜日												15:00	15:30	16:00					18:00	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30
11月11日												受付	出合いのつどい	オリエンテーション 合宿準備 子どもリーダーの時間					夕食	通学合宿プログラム① (交流ゲーム)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝
月曜日	6:30	7:00	7:30	8:00				14:30	15:30	16:00					18:00	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30				
11月12日	起床 洗面 清掃	登校準備	朝食 登校	通常授業			放課後			下校	自主活動・洗濯・自主学習				夕食	通学合宿プログラム② (クライミング)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝				
火曜日	6:30	7:00	7:30	8:00						15:30	16:00					18:00	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30			
11月13日	起床 洗面 清掃	登校準備	朝食 登校	通常授業					下校		自主活動・洗濯・自主学習				夕食	通学合宿プログラム③ (大学生企画)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝				
水曜日	6:30	7:00	7:30	8:00						15:30	16:00					18:00	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30			
11月14日	起床 洗面 清掃	登校準備	朝食 登校	通常授業					下校		自主活動・洗濯・自主学習				夕食	通学合宿プログラム④ (もらい通)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝				
木曜日	6:30	7:00	7:30	8:00			14:10	15:00				17:30	18:30	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30						
11月15日	起床 洗面 清掃	登校準備	朝食 登校	通常授業	食育授業		調理実習			夕食会		後始末	通学合宿プログラム⑤ (ピンゴ大会)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝							
金曜日	6:30	7:00	7:30	8:00						15:30	16:00					18:00	19:00	20:00	20:30	21:00	21:30			
11月16日	起床 洗面 清掃	登校準備	朝食 登校	通常授業					下校		自主活動・洗濯・自主学習				夕食	通学合宿プログラム⑥ (5年生の企画)	ふりかえり	入浴	就寝準備	就寝				
土曜日	6:30				9:00	10:00	11:00	12:00																
11月17日	起床・洗面 清掃 朝食・後片付け			自主活動 (ちゅうぼろ隊記念品 作り)			振りかえり 保護者懇談	別れのつどい キャンドルサービス	解散															

■ アクティビティについて



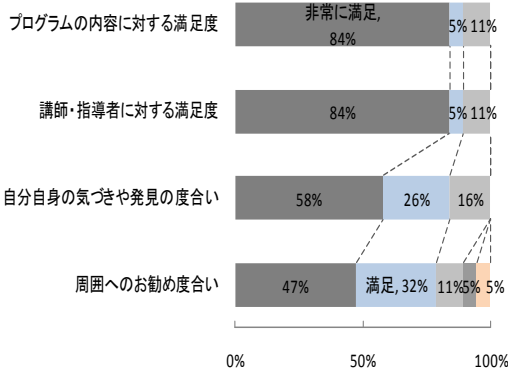
■ 意図

- 地域の指導者による合宿プログラムや学校行事でお世話になっている地域の方々を招待する夕食会、通学合宿経験者の中高校生による活動支援等、各プログラムをとおり、地域の方々との交流を深める。
- 下校後は、自主学習の時間を十分に設定して学習習慣の定着を図るほか、プログラム全体をとおして、基本的生活習慣の定着を図るよう支援を行う。

■ 留意事項

- 学校、家庭、運営協力スタッフとの連絡体制を密にする。

3 活動の様子



■ 当日の様子

1日目の開会式の後、学生リーダーが館内を案内しながら、青年の家のきまりや食堂の利用の仕方について説明し、子どもたちは合宿中の生活の仕方について理解を深めた。合宿前半の夜のプログラムとして、主にスポーツなど身体を動かす活動を行い、子どもたちは、青年の家の指導員によるニュースポーツ「キンボール・スポーツ」や地域の指導者による「スポーツクライミング」を体験した。また、学生企画として「班対抗レクリエーション」を実施し、子どもたちと学生リーダーとの交流を行った。

4日目の夜は、通学合宿の恒例プログラムとなった「もらい湯」を実施した。訪問前に子どもたちは音江地区の協力家庭に直接電話をし、訪問時間や場所の確認を行い、挨拶を行った後、各家庭に2～3人ずつ訪問し、入浴を体験した。

5日目の午後は、活動を音江町公民館に場所を移し、青年の家の食堂職員を講師に招き食育授業を行った。その後は同講師の指導で深川産黒米を使った炊き込みご飯やお米のピザ、そして深川のリンゴを使ったガレットを調理し、学校行事等でお世話になっている地域の方々を招待し、夕食会を実施した。地域の方々は、子どもたちの手作りの料理を堪能していた。その後は、通学合宿経験者である音江地区在住の高校生の進行によるビンゴ大会を楽しんだ。

6日目はスライドショーを見ながら一週間の活動を振り返った後「キャンドルのつどい」を実施した。穏やかな雰囲気の中、つどいの最後には、子どもたちは涙ぐみながら、学生リーダーへ感謝の気持ちを歌や言葉で伝えていた。最終日は、通学合宿経験者である音江中学校の「ちゅぼら隊（中学生ボランティア体験隊）」の協力で、学生リーダーへのお礼の品を製作した。その後は子どもたちが企画した「けいどろ」や「花いちもんめ」などの遊びを学生リーダーと楽しみ、学生リーダーが保護者との懇談を行った後、1週間をふりかえり、通学合宿を終了した。

■ 参加者の声

- 満足度については左表の通り。
- 参加者の感想
 - ・学生リーダーとの交流が楽しかった。お別れの日はさびしくなった。
 - ・早寝早起きをするという目標を立て、実行できてよかった。など

4 事業評価



■ 評価方法・重点

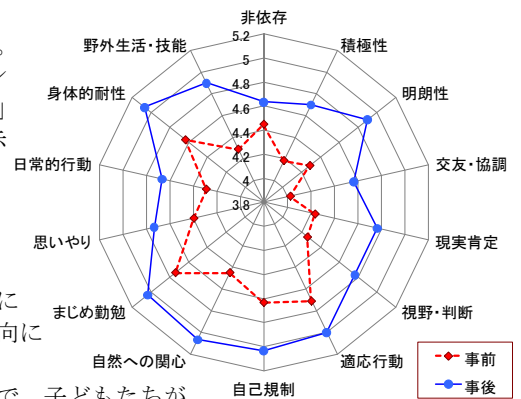
「明朗性」、「交友・協調」、「視野・判断」、の項目を重点とし、評価を行う。

■ 参加者の変容【I K R調査結果】

- アンケートの集計結果は右グラフの通り。
- 「明朗性」「野外生活・技能」（0.6ポイント増）、「積極性」「交友・協調」「視野・判断」（0.5ポイント増）などが特に大きな伸びを示している。

■ 結果の分析・考察

- 1週間という長期間の宿泊で、多様なプログラムを体験し、学生リーダーの支援をもとに日常活動についても自主的に取り組んだことにより、どの項目も増加傾向にある。
- 学習や清掃などの活動を継続的に行う中で、子どもたちが主体的に判断しながら前向きに取り組めるようになったことから、「明朗性」「視野・判断」の伸びが見られたと考える。
- 級友と協力をしながら各活動に取り組んだことにより「交友・協調」について伸びが見られたと考える。
- 帰所後に50分の学習時間を設定し、宿題のほか、自学自習も行わせたことや、起床消灯時間を含め、毎日規則正しい生活を送り、その大切さについて感じる事ができたため、「日常的行動」に伸びが見られたと考える。



5 まとめ

■ 成果

- 子どもの主体的な活動を促すための働きかけや声かけ等の日常生活全般に係る支援を学生リーダーが中心に行い、青年の家職員はその学生リーダーに常に助言を与える形で間接的に子どもたちへの指導を行ったため、子どもたちと学生の信頼関係を構築することができた。
- 昨年度の終了時に、学生リーダーと青年の家職員で運営上の課題等を共有した。今年度については、事前にこれらの課題解決のために方策を見出し、実際の運営に役立てることができた。

■ 課題・今後の方向性

- 事業の持ち方（経費、プログラムのねらいと内容、参加対象、運営体制）について見直しを図り、実行委員会等で検討する必要がある。
- 「地域で子どもを育てる」という趣旨のもと、地域との連携のあり方について、さらに模索していく必要がある。

基本的な生活習慣の定着や生活リズムの改善を図る通学合宿などのプログラム